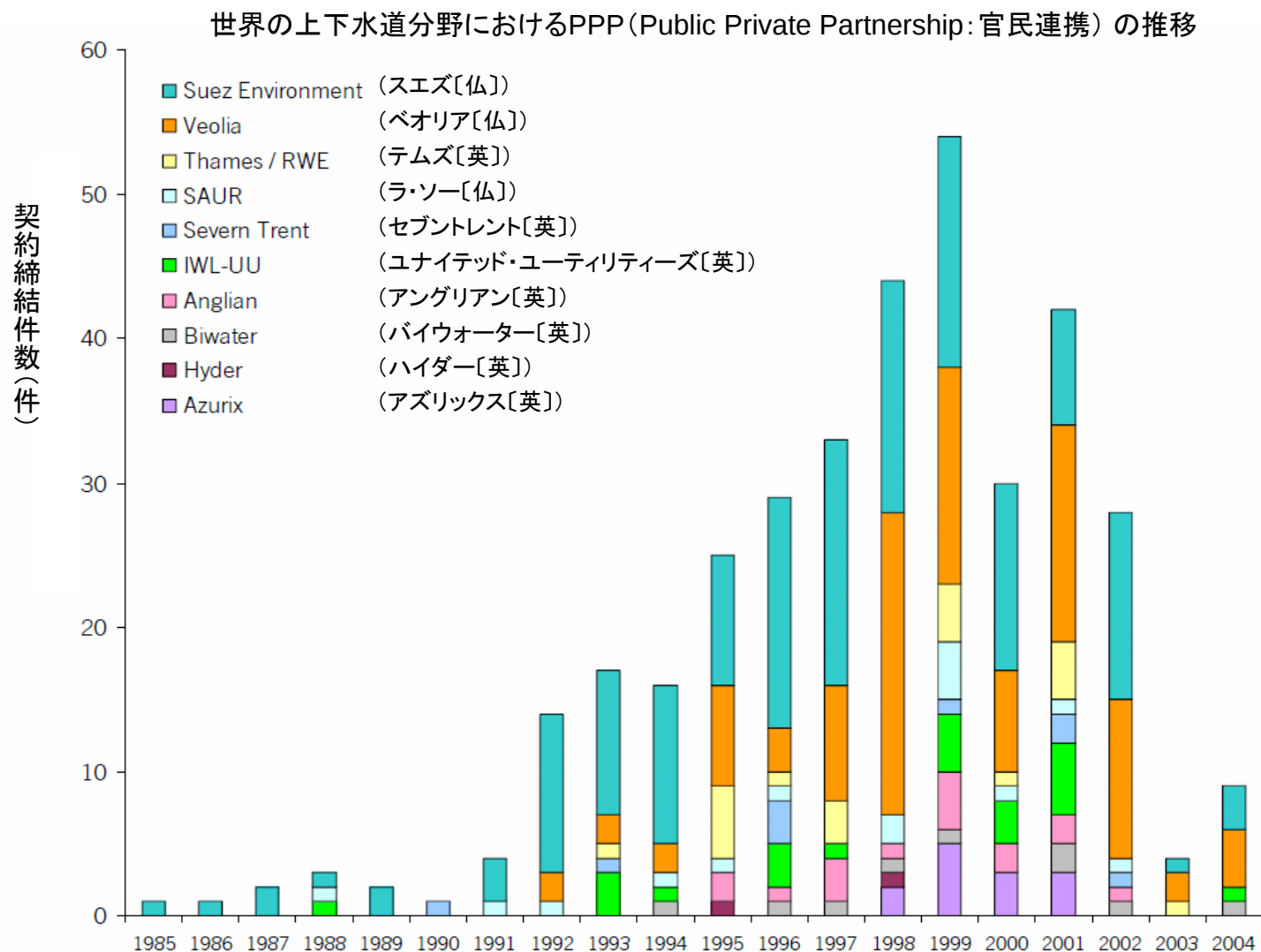


水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

○上下水道分野におけるグローバル化



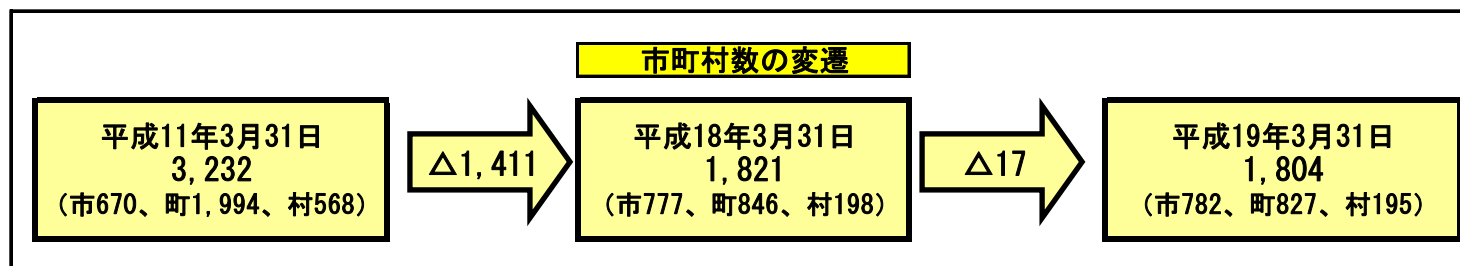
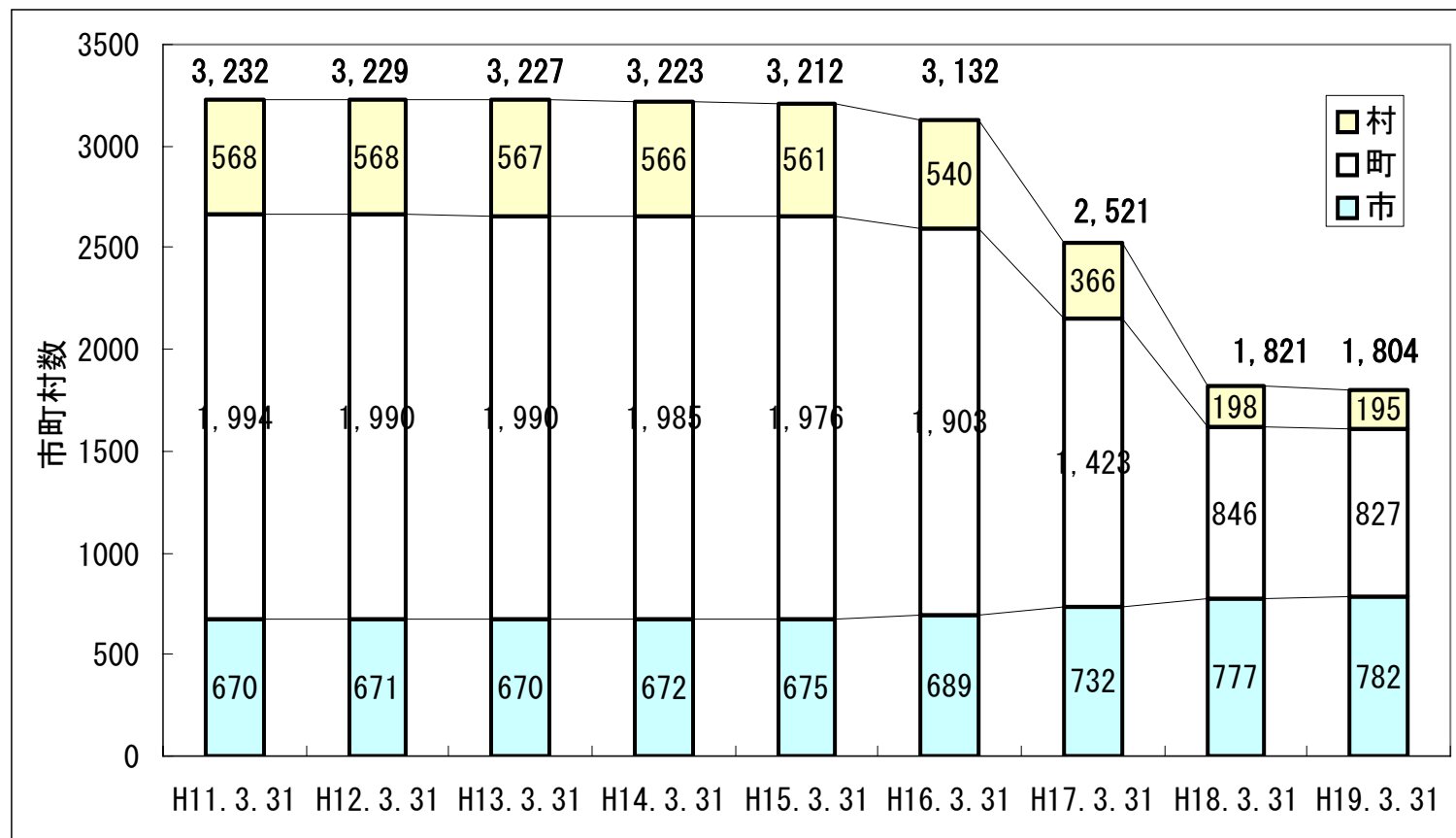
出典: OECD Global Forum on Sustainable Development “Public-Private Partnerships in Water Supply and Sanitation – Recent Trends and New Opportunities(2006年11月)

An international operator bringing water services to the poor, Alain Mathys, Suezより

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

○市町村の合併状況（市町村数の推移）

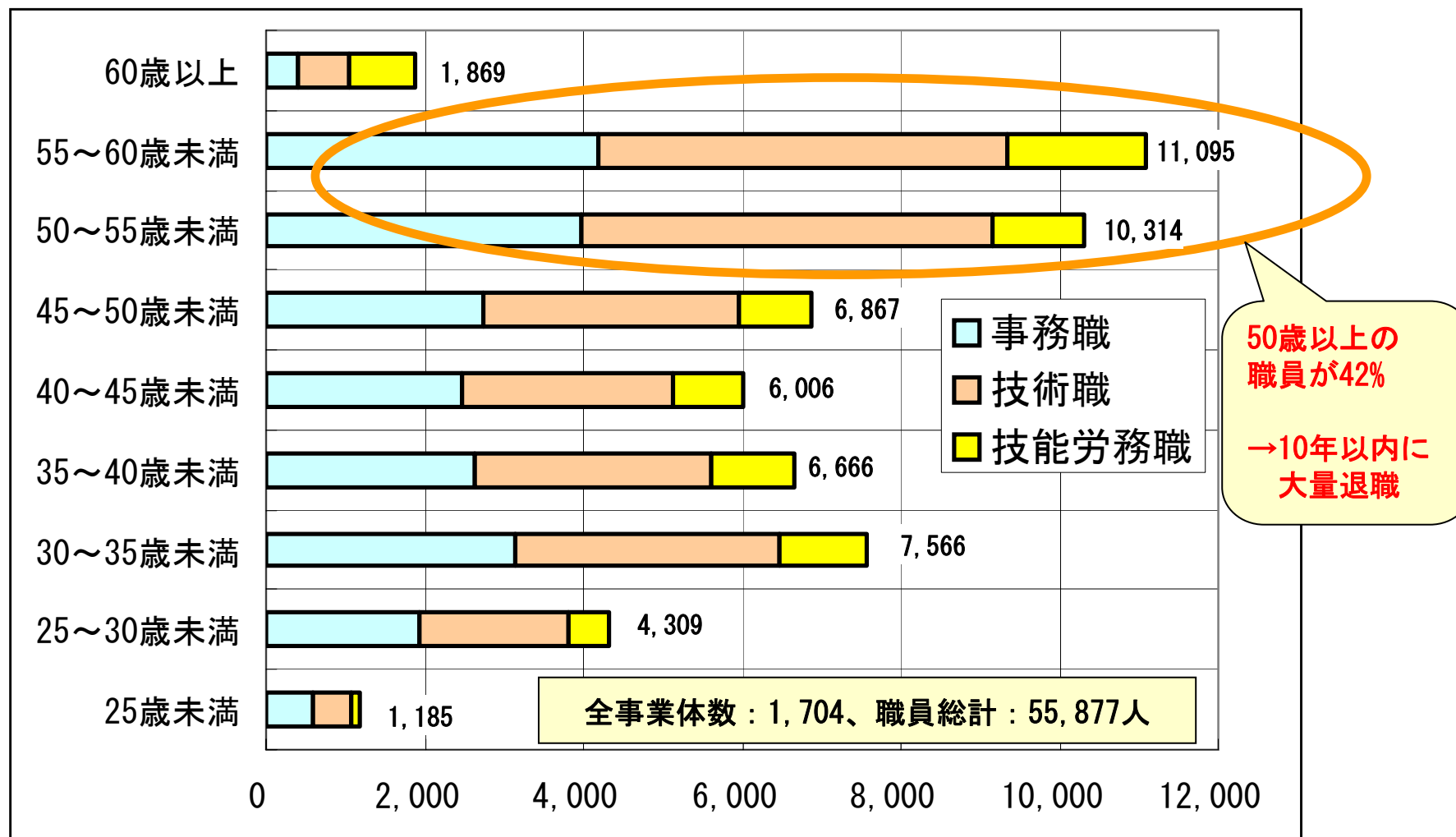


出典：市町村の推移グラフ（総務省）

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

○水道事業者における全職員の年齢別割合



出典：水道統計（平成17年度）

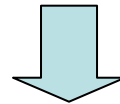
水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

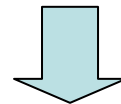
水道ビジョンの記述

以上のことから、水道分野もこれまでの発展に立脚して、これらの課題に対処しつつ、国民への給水サービスを一層向上させるための新たな取り組みを着実に展開する時期に来ていると言えよう。水道及び水道行政の抱える課題や議論の方向性については、平成に入ってからでは、生活環境審議会答申「今後の水道の質的向上のための方策について」（平成2年11月）や「21世紀に向けた水道整備の長期目標（ふれっしゅ水道）」（平成3年6月）に示され、そして、平成11年7月に水道基本問題検討会によってまとめられた「21世紀における水道及び水道行政のあり方」に詳細かつ具体的に整理されており、その政策提言のいくつかは、平成13年の水道法改正等によって制度的な対応がなされているところである。

「今後の水道の質的向上のための方策について」（平成2年11月）
「21世紀に向けた水道整備の長期目標（ふれっしゅ水道）」（平成3年6月）



「21世紀における水道及び水道行政のあり方」
（水道基本問題検討会、平成11年7月）



平成13年水道法一部改正

出典：水道ビジョン

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

水道ビジョンの記述

しかしながら、我が国の水道を取り巻く環境は刻々と変化しており、特に個人用井戸における水質問題や市町村合併における水道事業の在り方など、新たな課題も含め水道に関わる課題は広がりを見せている。

○飲用井戸の設置数と汚染状況

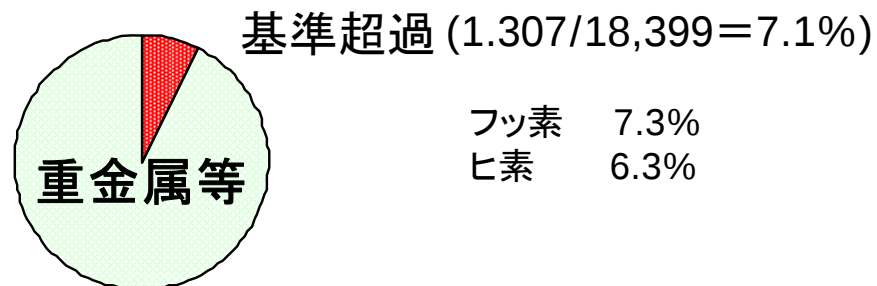
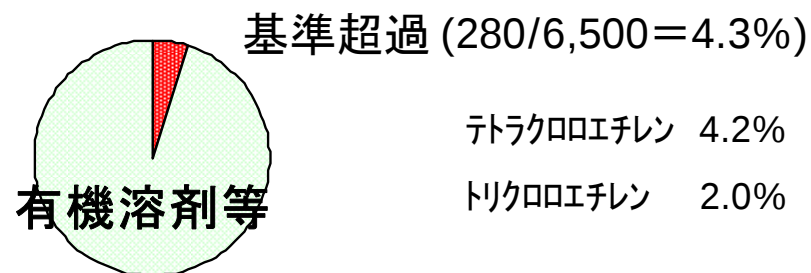
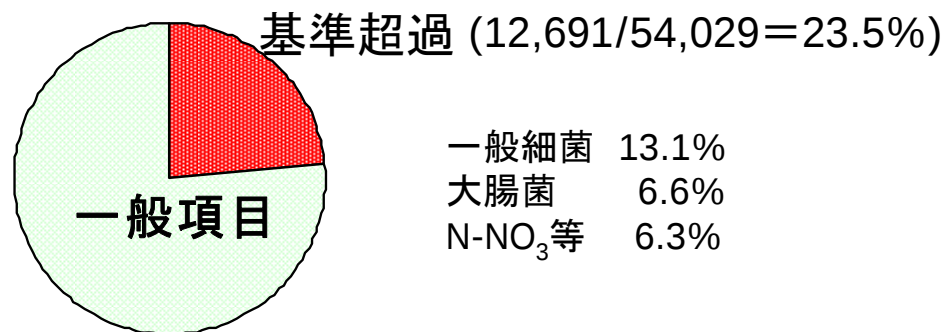
対象	設置数
条例	*6,695
要綱・要領等	606,665 *108,743
対象外	314,292 *74,389
合計	927,642 *189,827

*台帳等により実数が把握できている井戸数

平成17年度厚生労働省調べ

[参考]

山岳地の水場:95/234が大腸菌群陽性
(日本トイレ協会、2004年)



水道ビジョンレビュー
1. 水道ビジョンの目的

○個人用井戸の事故（感染症）事例

井戸水の感染症発生事例

発生日	発生場所	病因物質	原因施設	摂食者数	患者数	備 考
平成15年 3月17日	新潟県	ノロウイルス、ウェルシュ、 黄色ブドウ球菌、 カンピロバクター、大腸菌	飲食店	227	151	
平成15年 6月10日	石川県	ノロウイルス	飲食店	522	76	
平成15年 7月 4日	大分県	腸管出血性大腸菌（VT産生）	家庭	4	3	
平成16年 3月上旬	広島県	大腸菌群が検出されたが特 定できず	家庭	17	15	
平成17年 7月18日	大分県	病原大腸菌群（0168）	キャンプ場	348	273	
平成17年 8月13日	高知県	不明	家庭等	28	16	
平成18年 9月17日	宮城県	A型ボツリヌス菌（芽胞菌）	家庭等	9	1	井戸水の疑い

出典：厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

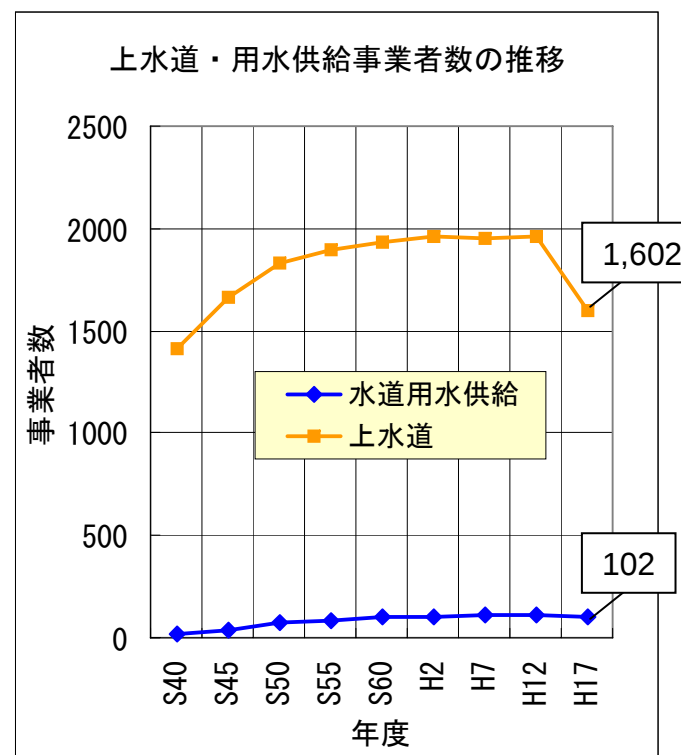
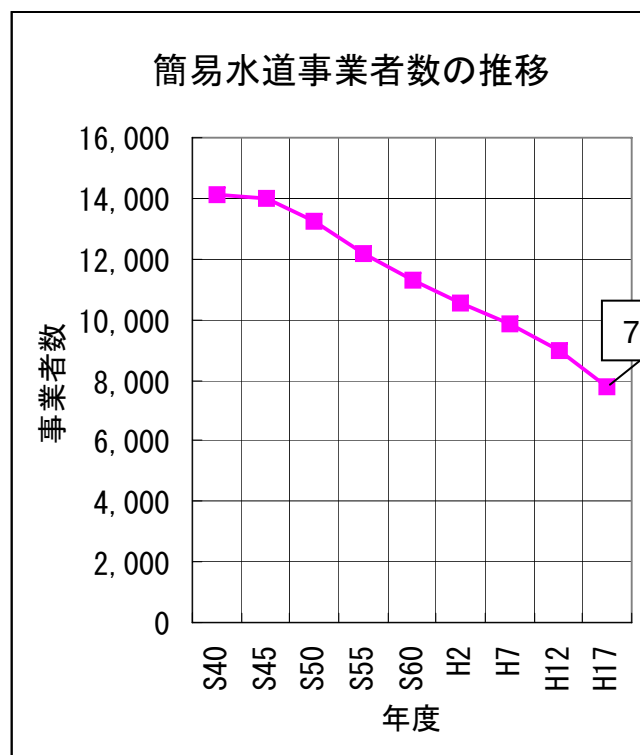
1. 水道ビジョンの目的

○市町村合併と水道事業統合の状況

市町村合併と水道事業統合の状況

	統合		独立	その他	計
	創設	編入			
市町村数	49	34	344	153	580

出典：厚生労働省健康局水道課調査（平成18年4月1日現在）



出典：水道統計

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

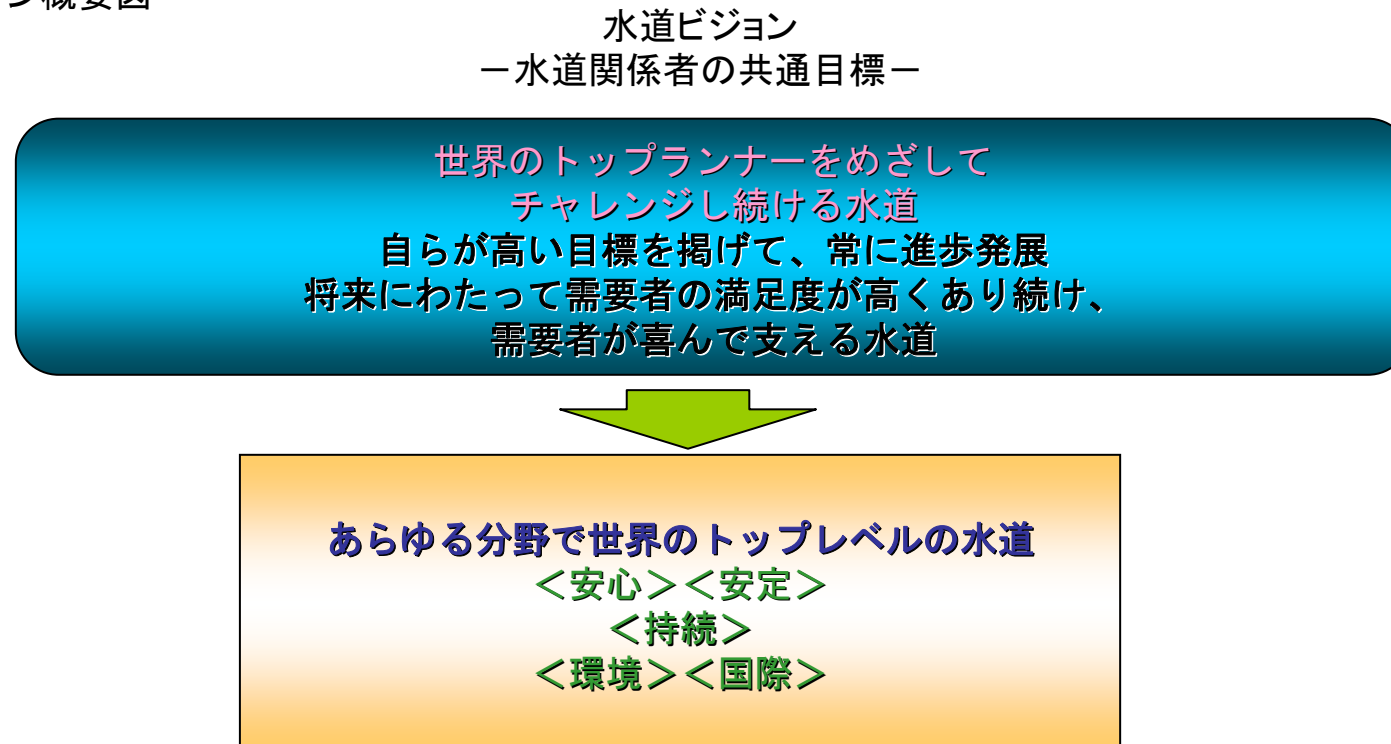
水道ビジョンの記述

本ビジョンの特徴は、水道基本問題検討会の成果に立脚しつつ、現状と将来の見通しを可能な限り定量的に分析、評価し、その結果をもとに今後の水道の在るべき姿について議論し、水道に関わるすべての人々の間で、水道の将来像についての共通認識の形成を目指した点にある。

本ビジョンは、21世紀の初頭において、関係者が共通の目標を持って、互いに役割を分担しながら連携して取り組むことができるよう、その道程を示すことを目的としている。

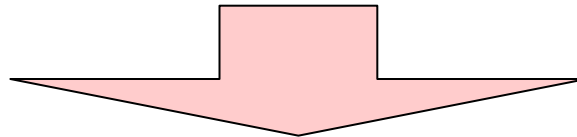
このようなことから、本ビジョンでは、今後の水道に関する重点的な政策課題とその課題に対処するための具体的な施策及びその方策、工程等を包括的に明示することとした。なお、本ビジョンの目標期間は、21世紀の中頃を見通しつつ、概ね10年間とした。

○水道ビジョン概要図



経営戦略策定の重要性

- ・水道事業の課題は山積み
 - － 施設老朽化に伴う大規模更新が必要
 - － 安全・快適な水の供給の確保
 - － 災害時にも安定給水を行うための施設水準の向上
 - － 運営基盤の強化
 - － 技術力の確保



経営戦略を策定し、計画的に実行することが必須

地域水道ビジョン